様式2

まちづくり交付金　事後評価シート

燕北部地区

平成22年1月
新潟県　燕市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県	市町村名	燕市	地区名	燕北部地区		面積	980ha
交付期間	平成19年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	224百万円	国費率	0.424	

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路（新潟交通電鉄跡地、桜町廿六木線）、地域生活基盤施設（防災行政無線（同報系）整備）
	提案事業	地域創造支援事業（防災情報配信システム整備事業）

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	道路（米納津50号線、中央通五の3松橋西移転場跡線）	米納津50号線：計画路線の利用形態を考慮したため。中央通五の3松橋西移転場跡線：隣接市道の歩道整備を優先させることとしたため。	米納津50号線：影響はあったが軽微であった。 中央通五の3松橋西移転場跡線：代替機能を有する隣接市道整備は、他事業で施行するため目標、指標等に影響はない。
	提案事業	地域創造支援事業（防災マップ作成事業）	関連事業で計画していた、洪水・土砂のハザードマップに防災マップの必要部分を記載したため事業を取りやめた。	関連事業で、防災マップと同様の内容が記載された洪水・土砂ハザードマップを作成したため目標、指標等に影響はない。
新たに追加した事業	基幹事業			
	提案事業			

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
	当　初	平成19年度～平成23年度	都市再生整備計画を一部変更したことにより、平成21年度には全ての事業が完了するため目標、指標等に影響はない。
	変　更	平成19年度～平成21年度	

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	災害関連情報受信可能世帯率	%	5	H18	70	H21		95	○	あり／なし	今まで防災無線が届かなかった世帯にも防災情報が届くようになり、情報伝達がスムーズになった。	
指標2	まちづくり活動の頻度	回/年	0	H18	1	H21		1	○	あり／なし	歩行者空間や緊急時の災害情報伝達エリアが拡大されたことにより、安全に対する意識が向上された。	平成22年5月
指標3	歩行者関連の交通事故の発生件数	件/年	94	H18	89	H21		85	○	あり／なし	歩行者空間や緊急時の災害情報伝達エリアが拡大されたことにより、安全に対する意識が向上された。	平成22年1月（暦年で評価）
指標4										あり／なし		
指標5										あり／なし		

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

4）定性的な効果発現状況

・本事業で緊急時の防災伝達システム及び防災行政無線が整備され、災害関連の情報受信可能世帯が増え住民の防災意識が高まった。
・本事業の相乗効果として、交通安全意識が高まった。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	まちづくり協議会及び自治会との協議	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	まちづくり協議会、自治会、防犯組合の意見を取り入れ、くらしの安全・安心の促進を図る計画立案に反映させたい。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり協議会に対する支援	都市再生整備計画に記載し、実施できた		まちづくり協議会に対し今後も支援を行い、まちづくり協議と地元住民による主体的な活動を推進していく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

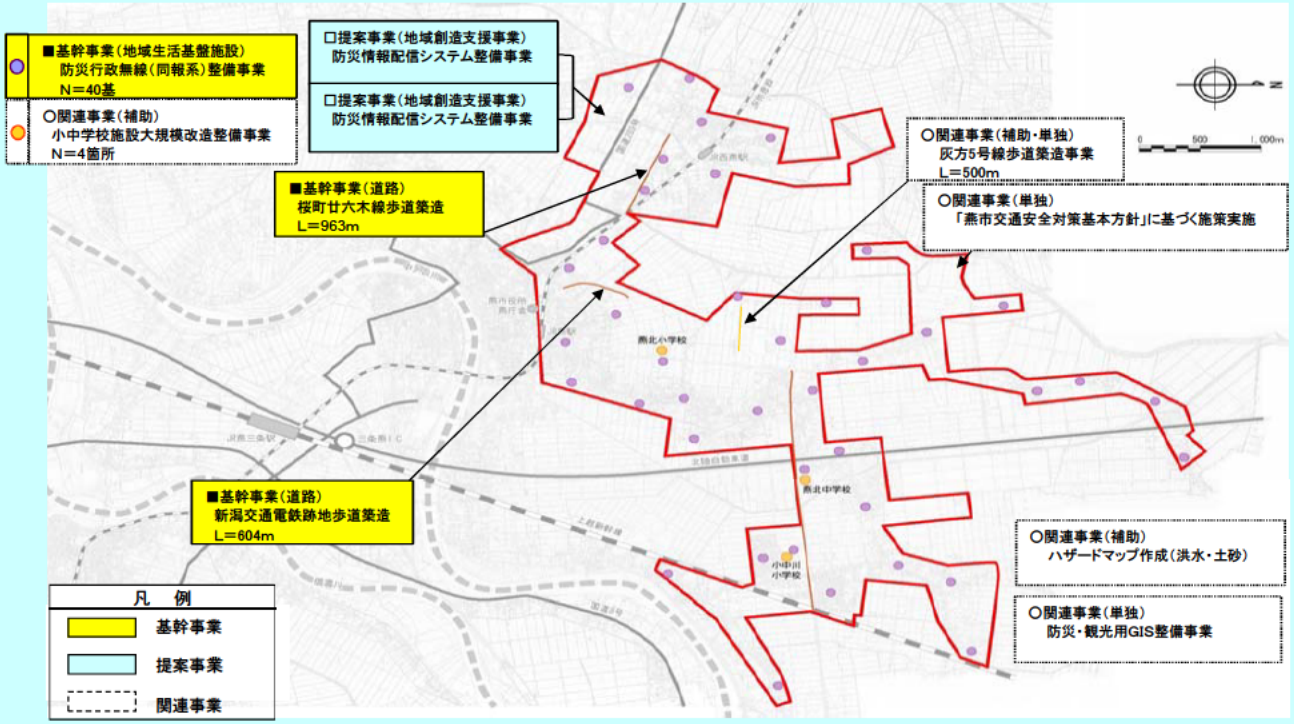
様式２－２　地区の概要

燕北部地区（新潟県燕市）　まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：「暮らしの安心・安全を高めるまちづくり」 目標1：安心して歩ける歩行者ネットワークの形成 目標2：緊急災害情報の迅速な伝達手段の確立 目標3：安全・安心なまちづくり活動の推進	災害関連情報受信可能世帯率	単位：%	5	H18	70	H21	95	H21
	まちづくり活動の頻度	単位：回/年	0	H18	1	H21	1	H21
	歩行者関連の交通事故の発生件数	単位：件/年	94	H18	89	H21	85	H21
		単位：		H		H		H
		単位：		H		H		H

【基幹】新潟交通電鉄跡地歩道築造（12月完成予定）

【基幹】桜町廿六木線歩道築造



【基幹】防災行政無線（同報系）整備事業

まちの課題の変化	・未整備となっている身近な歩道整備地区内の各拠点を結ぶ歩行者空間が確保され、生活環境が改善された。 ・緊急災害情報の迅速な発信・伝達が、防災行政無線（同報系）等により情報受信可能エリアが拡大された。今後は、整備された防災行政無線（同報系）の利活用の検討を含め住民に周知させる必要がある。 ・災害発生時の自主避難に有効なハザードマップ（防災マップ）を作成し全戸に配布することにより防災意識が向上した。また、歩行者空間が確保されたことにより、住民の交通安全に対する意識が向上した。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・防災情報システム等の情報伝達手段の促進を図り、災害に対する住民への啓蒙活動を促進する。 ・住民主体による活動を発展させ、住民が交通安全や防災に関する意識の高揚り、安全に暮らせるよう、地域主体によるまちづくり活動を持続的に行っていく。

様式4

まちづくり交付金　フォローアップ報告書

燕北部地区

平成23年2月

新潟県燕市

1．数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4－①　都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指　標		単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	災害関連情報受信可能世帯数	%	5	70	95	確定	●	○	あり					□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	防災無線が届かなかった世帯にも情報が届くようになり、情報伝達がスムーズになった。
						見込み			なし						
指標2	まちづくり活動の頻度	回/年	0	1	1	確定		○	あり	●	1	H22年6月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	歩行者空間や緊急情報伝達エリアが拡大されたことにより、安全に対する意識が向上した。
						見込み	●		なし						
指標3	歩行者関連の交通事故発生件数	件/年	94	89	85	確定		○	あり	●	79	H22年2月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	歩行者空間や緊急情報伝達エリアが拡大されたことにより、安全に対する意識が高揚し交通事故が減少した。
						見込み	●		なし						
指標4						確定			あり					□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし						
指標5						確定			あり					□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし						

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-①から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4－②　その他の数値指標の確定

指　標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1						確定							□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み								
その他の数値指標2						確定							□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み								
その他の数値指標3						確定							□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み								

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-②から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5－③に記載した今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	広域的な歩道ネットワーク構築の推進	市全体として必要性・緊急性の高い歩道築造の検討。	安全対策事業の事業化に向け前進した。	今後も、緊急性、必要性の高い歩道の築造の検討を行い、事業化を行う。
	まちづくり活動の開催による更なる交通安全、防災意識の高揚	交通パトロールの実践	交通安全の意識の高揚が図られた。	今後も、住民との共同で交通安全及び防災活動を実施する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	緊急災害情報の構築	防災行政無線の運用の構築、防災情報配信システムの構築、高齢者世帯に緊急告知FMラジオの配布を行った。	防災行政無線の運用の確立、防災情報配信システムの構築により、市民に防災情報を伝えることができるようになった。	防災情報の伝達等の検証を行う。

事後評価シート 添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項